平成 20 年 3 月 14 日
統計課人口社会ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ　027-226-2406

統計資料
１９－１１－２

平成１８年社会生活基本調査
群馬県結果の概要

－生活時間に関する結果－

平成２０年３月
群馬県総務部統計課

目　　次

結果の概要

１．　１日の生活時間の配分 ---------- 1

（１）概観

（２）生活時間の動向

① １次活動時間、２次活動時間は増加、３次活動時間は減少

② 土曜日の女性の２次活動時間が大幅に減少

③ 生活時間の男女差は若干縮小

（３）年齢階級別にみる生活時間

① 若年層と高齢層で長い１次活動時間及び３次活動時間

２．　１次活動時間 ---------- 4

（１）睡眠時間

① 35 ～ 44 歳で最も短い睡眠時間

② 男性、女性ともに 65 ～ 74 歳の睡眠時間が最も減少

③ 土曜日の睡眠時間が増加

（２）身の回りの用事の時間

① すべての年齢階級で男性より長い女性の身の回りの用事の時間

（３）食事時間

① 若年層は短く、高齢層は長い食事時間

３．　２次活動時間 ---------- 7

（１）仕事時間

① 35 ～ 44 歳、45 ～ 54 歳で最も長い仕事時間

② 有業者の仕事時間、女性で大幅に増加

③ 平日の仕事時間が増加

（２）家事関連時間

① １日に５時間以上を家事関連に費やす 35 ～ 44 歳の女性

② 依然男女の差が大きい家事関連時間

③ 有業者は 9 分増加、無業者は 11 分の減少

④ 男性の家事関連時間がすべての曜日で増加

４．　３次活動時間 ---------- １１

（１）休養等自由時間活動の時間

① 15 ～ 24 歳で最も短い休養等自由時間活動の時間

② 休養等自由時間活動の時間は減少傾向

（２）積極的自由時間活動の時間

① 15 ～ 24 歳で最も長い積極的自由時間活動の時間

② 積極的自由時間活動の時間は 15 ～ 24 歳、65 ～ 74 歳で大きく増加

主要統計表

（群馬県）

第 1-1 表　曜日、男女、ふだんの就業状態、年齢、行動の種類別総平均時間（週全体）　1

第 1-2 表　曜日、男女、ふだんの就業状態、年齢、行動の種類別総平均時間（平　日）　3

第 1-3 表　曜日、男女、ふだんの就業状態、年齢、行動の種類別総平均時間（土曜日）　5

第 1-4 表　曜日、男女、ふだんの就業状態、年齢、行動の種類別総平均時間（日曜日）　7

（全　国）

第 2-1 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（週全体）　9

第 2-2 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（平　日）　１５

第 2-3 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（土曜日）　２１

第 2-4 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（日曜日）　２７

第 3-1 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（15 歳以上）（週全体）　３３

第 3-2 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（15 歳以上）（平　日）　３９

第 3-3 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（15 歳以上）（土曜日）　４５

第 3-4 表　曜日、男女、行動の種類別総平均時間（15 歳以上）（日曜日）　５１

付　録

付録　平成１８年社会生活基本調査の概要

結 果 の 概 要

－ 主 な 用 語 －

○ １次活動・・・・・ 睡眠、食事など生理的に必要な活動
○ ２次活動・・・・・ 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
○ ３次活動・・・・・ 上記以外で各人が自由に使える時間における活動
○ 総平均時間・・・・ 該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均

－ 利 用 上 の 注 意 －

1 統計表の数字は、表章単位未満の位で四捨五入してあること、総数に分類不能・不詳の数を含むことから、総数と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。
2 増減及び増減率、構成比等の比率は、表章単位の数字から算出している。
3 統計表中「0」、「0.0」、「0.00」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。
4 統計表中「－」は、該当数字のない箇所である。
5 本文中についても同様である。
6 この結果の概要では、総平均時間の数値を記載している。
7 平成 13 年調査との比較等の観点から、基本的に 15 歳以上の人口による分析となっている。

１．１日の生活時間の配分

（１）概観

県内に住んでいる 10 歳以上の人について、１日の生活時間（週全体平均（以下「週全体」という。））をみると、１次活動（睡眠、食事など生理的に必要な活動）の時間が 10 時間 44 分、２次活動（仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動）の時間が 7 時間 11 分、３次活動（余暇活動など）の時間が 6 時間 5 分となっている。

これを 15 歳以上の人についてみると、それぞれ 10 時間 43 分、7 時間 14 分、6 時間 3 分となっている。

男女別にみると、１次活動時間及び２次活動時間は女性が男性より長くなっており、３次活動時間は男性が女性より長くなっている。【表１－１】

表1－1　1日の生活時間－週全体　(時間:分)

	総数		男		女	
10歳以上						
1次活動	10:44	(0:05)	10:41	(0:06)	10:47	(0:04)
2次活動	7:11	(0:09)	7:06	(0:09)	7:16	(0:09)
3次活動	6:05	(- 0:14)	6:13	(- 0:15)	5:58	(- 0:13)
15歳以上						
1次活動	10:43	(0:05)	10:40	(0:06)	10:46	(0:04)
2次活動	7:14	(0:08)	7:10	(0:08)	7:18	(0:08)
3次活動	6:03	(- 0:13)	6:10	(- 0:14)	5:56	(- 0:12)

(　)内は平成13年との増減

（２）生活時間の動向

① １次活動時間、２次活動時間は増加、３次活動時間は減少

過去の調査と比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について、この 10 年間の生活時間の推移をみると、１次活動時間は、平成 8 年の 10 時間 41 分から 13 年が 10 時間 38 分と減少し、18 年は 10 時間 43 分と増加した。２次活動時間は、平成 8 年の 7 時間 15 分から 13 年が 7 時間 6 分と減少し、18 年は 7 時間 14 分と増加している。３次活動時間は、平成 8 年の 6 時間 4 分から 13 年が 6 時間 16 分と増加したが、18 年は 6 時間 3 分と減少している。【表１－２】

② 土曜日の女性の２次活動時間が大幅に減少

15 歳以上の人について曜日別の生活時間を平成 13 年と比較すると、１次活動時間は,男性では平日、土曜日、日曜日のいずれにおいても増加、女性では平日、土曜日で増加し、日曜日で減少している。２次活動時間は、男性では平日、日曜日で増加、土曜日で減少し、女性では平日、日曜日で増加しているが、土曜日で 23 分と大幅に減少している。３次活動時間においては、男性は平日、土曜日、日曜日のいずれにおいても減少、女性は平日、日曜日は減少しているが土曜日は増加している。【表１－３】

③ 生活時間の男女差は若干縮小

15 歳以上の人について生活時間の男女差（男性－女性）を平成 13 年と比較してみると、１次活動時間は-8 分から-6 分へ、２次活動時間はともに-8 分、３次活動時間は+16 分から+14 分へと差は若干縮小した。【表１－２】

表1－2　行動の種類別生活時間の推移（15歳以上）－週全体　（時間：分）

行動の種類	総数			男			女		
	平成8年	平成13年	平成18年	平成8年	平成13年	平成18年	平成8年	平成13年	平成18年
1次活動	10:41	10:38	10:43	10:32	10:34	10:40	10:49	10:42	10:46
睡眠	7:48	7:47	7:43	7:54	7:55	7:53	7:42	7:39	7:33
身の回りの用事	1:12	1:13	1:18	1:01	1:05	1:09	1:23	1:21	1:27
食事	1:41	1:38	1:42	1:37	1:34	1:38	1:44	1:41	1:46
2次活動	7:15	7:06	7:14	7:11	7:02	7:10	7:20	7:10	7:18
通勤・通学	0:28	0:27	0:26	0:36	0:37	0:34	0:20	0:18	0:18
仕事	4:20	4:02	4:10	5:43	5:32	5:34	3:01	2:35	2:49
学業	0:21	0:23	0:23	0:22	0:22	0:21	0:21	0:24	0:24
家事	1:27	1:28	1:32	0:15	0:13	0:18	2:36	2:41	2:43
介護・看護	0:03	0:04	0:04	0:01	0:01	0:04	0:05	0:07	0:04
育児	0:14	0:17	0:17	0:03	0:05	0:05	0:24	0:29	0:29
買い物	0:22	0:24	0:22	0:11	0:13	0:14	0:33	0:35	0:30
3次活動	6:04	6:16	6:03	6:18	6:24	6:10	5:51	6:08	5:56
移動(通勤･通学除く)	0:24	0:31	0:28	0:26	0:28	0:26	0:23	0:34	0:30
ﾃﾚﾋﾞ･ﾗｼﾞｵ･新聞･雑誌	2:32	2:32	2:17	2:35	2:40	2:23	2:29	2:24	2:11
休養・くつろぎ	1:12	1:18	1:25	1:11	1:16	1:24	1:12	1:20	1:25
学習･研究（学業以外）	0:08	0:10	0:07	0:08	0:12	0:08	0:09	0:09	0:06
趣味・娯楽	0:34	0:40	0:41	0:41	0:46	0:44	0:28	0:34	0:37
スポーツ	0:12	0:12	0:12	0:16	0:14	0:15	0:09	0:09	0:10
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動･社会参加活動	0:04	0:04	0:05	0:05	0:03	0:05	0:03	0:04	0:05
交際・付き合い	0:29	0:26	0:21	0:31	0:24	0:20	0:27	0:29	0:21
受診・療養	0:07	0:06	0:10	0:07	0:06	0:10	0:07	0:07	0:10
その他	0:21	0:17	0:18	0:18	0:16	0:16	0:25	0:18	0:20

表1－3　曜日別生活時間の推移（15歳以上）　（時間：分）

		平日			土曜日			日曜日		
		平成8年	平成13年	平成18年	平成8年	平成13年	平成18年	平成8年	平成13年	平成18年
総数	1次活動	10:32	10:27	10:33	10:41	10:49	10:58	11:23	11:22	11:17
	2次活動	8:05	7:53	8:05	6:07	6:01	5:46	4:13	4:16	4:28
	3次活動	5:22	5:40	5:22	7:12	7:10	7:16	8:24	8:23	8:15
男	1次活動	10:23	10:24	10:29	10:32	10:41	10:55	11:16	11:17	11:19
	2次活動	8:16	8:03	8:15	5:38	5:38	5:30	3:17	3:22	3:27
	3次活動	5:21	5:33	5:16	7:50	7:41	7:35	9:27	9:21	9:14
女	1次活動	10:41	10:30	10:37	10:49	10:57	11:01	11:29	11:26	11:16
	2次活動	7:55	7:44	7:56	6:35	6:24	6:01	5:07	5:07	5:26
	3次活動	5:23	5:47	5:27	6:35	6:39	6:58	7:24	7:27	7:18

（３）年齢階級別にみる生活時間

① 若年層と高齢層で長い１次活動時間及び３次活動時間

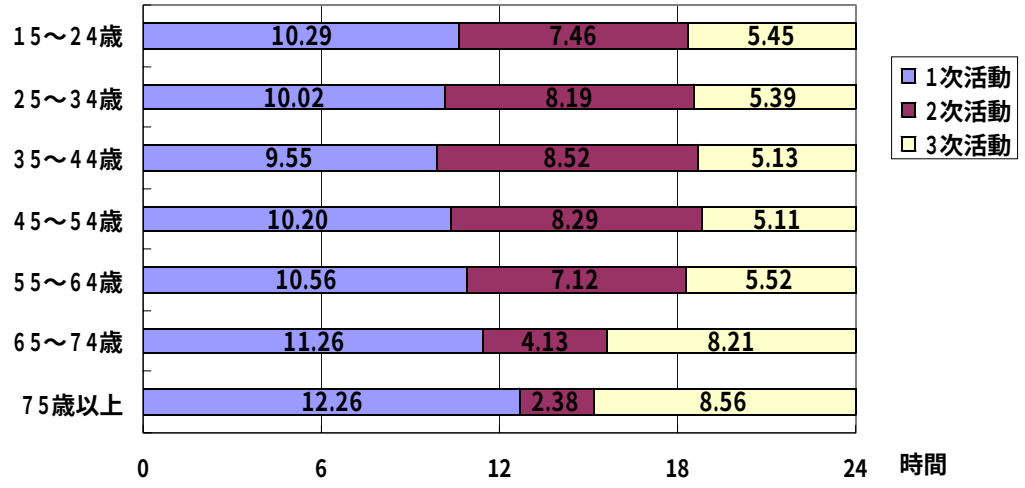
年齢階級別に生活時間をみると、１次活動時間は、男性の 35 ～ 44 歳 （9 時間 55 分）、女性の 35 ～ 44 歳（10 時間 3 分）が最も短く、男女とも 65 歳以上の高齢層が長くなっている。

２次活動時間は、男性では 35 ～ 44 歳（8 時間 52 分）、女性でも 35 ～ 44 歳（8 時間 59 分）で最も長く、これより年齢が低い又は高いほど短くなっている。

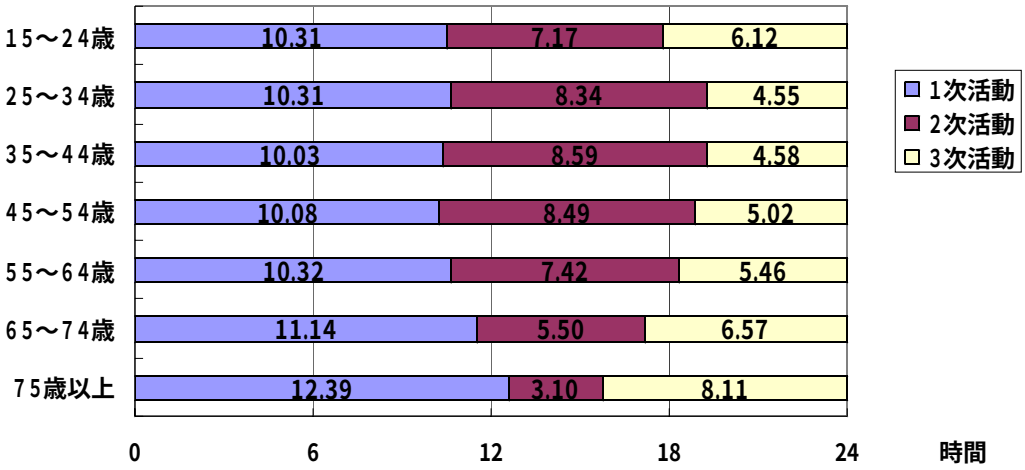
３次活動時間は、男性では 45 ～ 54 歳（5 時間 11 分）、女性では 25 ～ 34 歳（4 時間 55 分）が最も短く、高齢層が長くなっている。【図１－１】

図1－1　男女、年齢階級別1日の生活時間－週全体

男



女



２．１次活動時間

（１）睡眠時間

① 35 ～ 44 歳で最も短い睡眠時間

15 歳以上の人の睡眠時間（週全体）は 7 時間 43 分で、男性は 7 時間 53 分、女性は 7 時間 33 分と男性の方が 20 分長くなっている。

年齢階級別に睡眠時間をみると、35 ～ 44 歳が 7 時間 13 分と最も短く、75 歳以上が 8 時間 59 分と長くなっている。

これを男女別にみると、女性の睡眠時間はすべての年齢階級で男性より短くなっており、特に 15 ～ 24 歳、45 ～ 54 歳では 38 分と大幅に短くなっている。【表２－１、図２－１】

② 男性、女性ともに 65 ～ 74 歳の睡眠時間が最も減少

15 歳以上の人について平成 13 年と比較すると、13 年が 7 時間 47 分、18 年が 7 時間 43 分と 4 分短くなっている。

年齢階級別にみると、15 歳～ 24 歳、55 ～ 64 歳を除く各年齢階級で減少している。

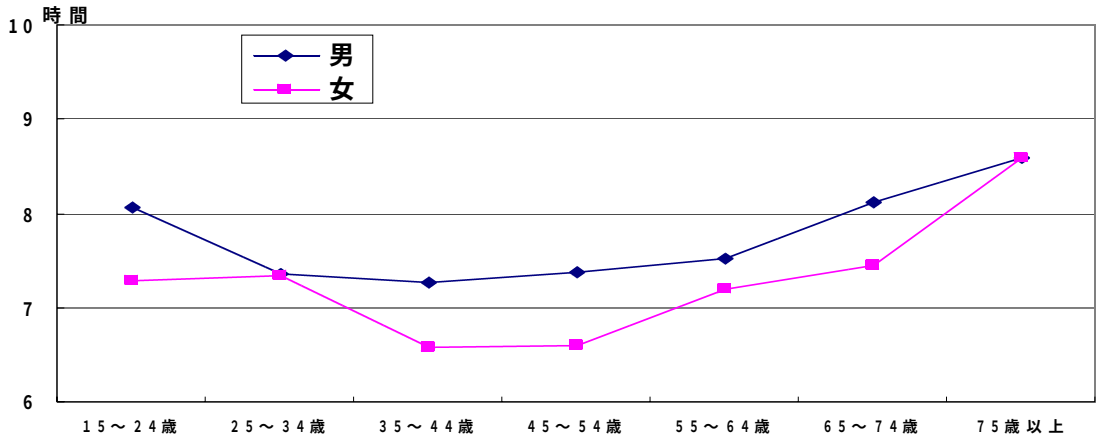
これを男女別にみると、男性は 65 ～ 74 歳で 13 分、女性も 65 ～ 74 歳で 21 分と最も減少している。【表２－１】

表2－1　年齢階級別睡眠時間の推移－週全体　(時間:分)

	総　数			男			女			男-女
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成18年
15歳以上	7:47	7:43	(- 0:04)	7:55	7:53	(- 0:02)	7:39	7:33	(- 0:06)	0:20
15～24歳	7:48	7:49	(0:01)	7:57	8:07	(0:10)	7:39	7:29	(- 0:10)	0:38
25～34歳	7:40	7:35	(- 0:05)	7:44	7:36	(- 0:08)	7:36	7:34	(- 0:02)	0:02
35～44歳	7:21	7:13	(- 0:08)	7:39	7:27	(- 0:12)	7:03	6:58	(- 0:05)	0:29
45～54歳	7:21	7:18	(- 0:03)	7:35	7:37	(0:02)	7:07	6:59	(- 0:08)	0:38
55～64歳	7:34	7:36	(0:02)	7:48	7:52	(0:04)	7:21	7:20	(- 0:01)	0:32
65～74歳	8:15	7:58	(- 0:17)	8:25	8:12	(- 0:13)	8:06	7:45	(- 0:21)	0:27
75歳以上	9:13	8:59	(- 0:14)	9:11	8:59	(- 0:12)	9:14	8:58	(- 0:16)	0:01

( )内は平成13年との増減

図２－１　男女、年齢階級別睡眠時間－週全体



③　土曜日の睡眠時間が増加

15 歳以上の人について曜日別に睡眠時間をみると、1 日（午前 0 時から起算する 24 時間）のうち、平日が 7 時間 33 分、土曜日が 7 時間 59 分、日曜日が 8 時間 17 分となっており、平日に比べ日曜日の睡眠時間が大幅に長く、その差は 44 分となっている。

平成 13 年と比較すると、土曜日は増加し、平日と日曜日は減少している。【表２－２】

表2－2　曜日別睡眠時間の推移(15歳以上)　(時間:分)

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年	
平日	7:39	7:33	(- 0:06)	7:47	7:43	(- 0:04)	7:30	7:23	(- 0:07)
土曜日	7:54	7:59	(0:05)	7:58	8:07	(0:09)	7:49	7:50	(0:01)
日曜日	8:19	8:17	(- 0:02)	8:27	8:29	(0:02)	8:11	8:05	(- 0:06)

( )内は平成13年との増減

（２）身の回りの用事の時間

①　すべての年齢階級で男性より長い女性の身の回りの用事の時間

15 歳以上の人の、洗顔、入浴、身じたく、化粧などの「身の回りの用事）の時間（週全体）は、1 時間 18 分で、男性が 1 時間 9 分、女性が 1 時間 27 分と、女性が長くなっている。

年齢階級別にみると、15 ～ 24 歳、45 ～ 54 歳が 1 時間 14 分と最も短く、75 歳以上で 1 時間 32 分と長くなっている。

これを男女別にみると、男性は 15 ～ 24 歳で 58 分と短く、75 歳以上で 1 時間 23 分と長くなっている。一方、女性はすべての年齢階級で 1 時間を超えており、特に 75 歳以上では、1 時間 38 分と長くなっている。またすべての年齢階級で女性が男性より長くなっている。【表２－３】

表2－3　　年齢階級別身の回りの用事の時間の推移－週全体　　(時間:分)

	総　数			男			女			男-女
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成18年
15歳以上	1:13	1:18	(0:05)	1:05	1:09	(0:04)	1:21	1:27	(0:06)	- 0:18
15～24歳	1:15	1:14	(- 0:01)	1:03	0:58	(- 0:05)	1:28	1:30	(0:02)	- 0:32
25～34歳	1:11	1:15	(0:04)	1:02	1:07	(0:05)	1:21	1:22	(0:01)	- 0:15
35～44歳	1:06	1:18	(0:12)	0:58	1:05	(0:07)	1:14	1:31	(0:17)	- 0:26
45～54歳	1:08	1:14	(0:06)	0:58	1:03	(0:05)	1:18	1:26	(0:08)	- 0:23
55～64歳	1:14	1:18	(0:04)	1:04	1:15	(0:11)	1:24	1:22	(- 0:02)	- 0:07
65～74歳	1:17	1:20	(0:03)	1:16	1:13	(- 0:03)	1:18	1:26	(0:08)	- 0:13
75歳以上	1:32	1:32	(0:00)	1:36	1:23	(- 0:13)	1:30	1:38	(0:08)	- 0:15

( )内は平成13年との増減

（3）食事時間

① 若年層は短く、高齢層は長い食事時間

15 歳以上の人の食事時間（週全体）は、1 時間 42 分で、男性が 1 時間 38 分、女性が 1 時間 46 分と女性の方が長くなっている。

年齢階級別にみると、25 ～ 34 歳が 1 時間 26 分と最も短く、これより年齢が高くなるほど長くなる傾向となっており、65 歳以上の高齢層は 2 時間以上と長くなっている。

これを男女別にみると、ほとんどの年齢階級で女性が男性より長く、特に 25 ～ 34 歳では女性の方が 15 分長くなっている。【表２－４】

表2－4　　年齢階級別食事時間の推移－週全体　　(時間:分)

	総　数			男			女			男-女
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成18年
15歳以上	1:38	1:42	(0:04)	1:34	1:38	(0:04)	1:41	1:46	(0:05)	- 0:08
15～24歳	1:21	1:28	(0:07)	1:15	1:24	(0:09)	1:27	1:32	(0:05)	- 0:08
25～34歳	1:31	1:26	(- 0:05)	1:25	1:19	(- 0:06)	1:36	1:34	(- 0:02)	- 0:15
35～44歳	1:28	1:28	(0:00)	1:26	1:23	(- 0:03)	1:31	1:34	(0:03)	- 0:11
45～54歳	1:34	1:42	(0:08)	1:32	1:40	(0:08)	1:37	1:43	(0:06)	- 0:03
55～64歳	1:47	1:49	(0:02)	1:46	1:48	(0:02)	1:47	1:51	(0:04)	- 0:03
65～74歳	1:59	2:02	(0:03)	1:56	2:02	(0:06)	2:01	2:02	(0:01)	0:00
75歳以上	1:59	2:03	(0:04)	2:00	2:03	(0:03)	1:58	2:03	(0:05)	0:00

( )内は平成13年との増減

３． ２次活動時間

（１）仕事時間

① 35 ～ 44 歳、45 ～ 54 歳で最も長い仕事時間

15 歳以上の人のうち、有業者は約 114 万 1 千人（15 歳以上人口に占める有業者の割合（有業率は 67.5 %）で、男性は約 65 万 7 千人（同 79.3 %）、女性は約 48 万 4 千人（同 56.3 %）となっている。

これを生産年齢人口（15 ～ 64 歳）でみると、有業者は約 100 万 4 千人（有業率 77.8 %）で、男性が約 58 万人（同 88.5 %）、女性が約 42 万 5 千人（同 66.9 %）となっている。 生産年齢人口でみた有業率を平成 13 年と比較すると、男女とも上昇している。【表３－１】

有業者の 1 日の仕事時間（週全体）は 6 時間 5 分で、男性が 6 時間 57 分、女性が 4 時間 54 分となっている。

これを年齢階級別にみると、35 ～ 44 歳、45 ～ 54 歳が 6 時間 27 分と最も長く、これより年齢が低く又は高くなるほど短くなっている。

また、男女別にみると、男性は 35 ～ 44 歳が 7 時間 39 分と最も長く、女性は 45 ～ 54 歳が 5 時間 16 分と最も長くなっている。【表３－２、図３－１】

② 有業者の仕事時間、女性で大幅に増加

有業者の仕事時間について、平成 13 年と比較すると 8 分の増加となっている。

男女別にみると、男性が 3 分、女性が 17 分と、女性の増加幅の方が大きくなっている。【表３－２】

表3－1　有業者数及び有業率の推移　(時間:分)

		有業者数(千人)		有業率(%)　( )内はﾎﾟｲﾝﾄ	
		平成13年	平成18年	平成13年	平成18年
総数	総 数	1135	1141 (6)	67.1	67.5 (0.4)
	男	660	657 (-3)	79.5	79.3 (-0.2)
	女	475	484 (9)	55.1	56.3 (1.2)
生産年齢人口	総 数	1022	1004 (-18)	76.6	77.8 (1.2)
	男	590	580 (-10)	87.3	88.5 (1.2)
	女	431	425 (-6)	65.5	66.9 (1.4)

( )内は平成13年との増減

表3－2　年齢階級別仕事時間の推移（有業者）－週全体　　（時間：分）

	総　数			男			女		
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年	
15歳以上	5:57	6:05	(0:08)	6:54	6:57	(0:03)	4:37	4:54	(0:17)
15～24歳	5:47	5:58	(0:11)	6:43	6:36	(- 0:07)	4:40	5:05	(0:25)
25～34歳	6:27	6:21	(- 0:06)	7:28	7:23	(- 0:05)	4:48	4:50	(0:02)
35～44歳	6:22	6:27	(0:05)	7:32	7:39	(0:07)	4:47	4:48	(0:01)
45～54歳	6:07	6:27	(0:20)	7:06	7:23	(0:17)	4:52	5:16	(0:24)
55～64歳	5:29	5:56	(0:27)	6:24	6:35	(0:11)	4:16	5:04	(0:48)
65～74歳	5:18	5:04	(- 0:14)	5:51	5:22	(- 0:29)	4:22	4:38	(0:16)
75歳以上	3:01	3:57	(0:56)	2:52	5:01	(2:09)	3:08	2:51	(- 0:17)

（ ）内は平成13年との増減

③ 平日の仕事時間が増加

有業者の仕事時間について曜日別に平成 13 年と比較してみると、平日で増加、土曜日と日曜日で減少となっている。

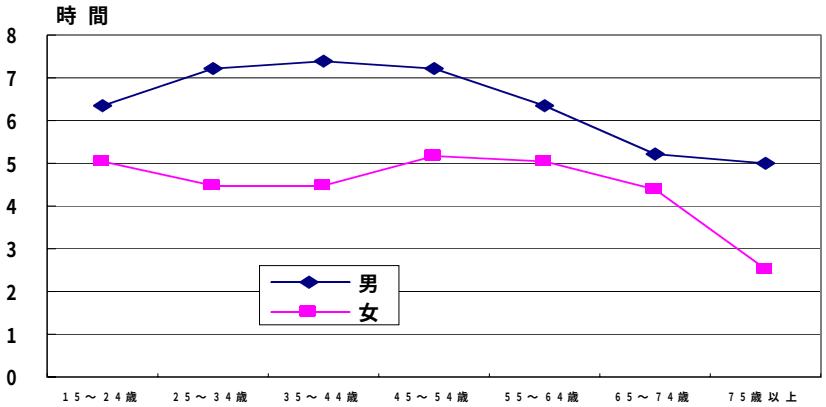
男女別にみると、男性は平日で増加、土曜日、日曜日では減少しているが、女性はすべての曜日で増加している【表３－３】

表3－3　曜日別仕事時間の推移（有業者）　　（時間：分）

	総　数			男			女		
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年	
週全体	5:57	6:05	(0:08)	6:54	6:57	(0:03)	4:37	4:54	(0:17)
平　日	6:54	7:07	(0:13)	8:03	8:12	(0:09)	5:19	5:39	(0:20)
土曜日	4:38	4:32	(- 0:06)	5:26	5:09	(- 0:17)	3:33	3:42	(0:09)
日曜日	2:31	2:26	(- 0:05)	2:42	2:25	(- 0:17)	2:15	2:26	(0:11)

（ ）内は平成13年との増減

図３－１　男女、年齢階級別仕事時間（有業者）－週全体



（２）家事関連時間

① １日に５時間以上を家事関連に費やす 35 ～ 44 歳の女性

15 歳以上の人の家事関連時間（「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間）（週全体）は、２時間 10 分で、男性が 40 分、女性が３時間 35 分と男女の間に大きな差がある。

年齢階級別にみると、35 ～ 44 歳の家事関連時間が２時間 49 分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、男性は 55 歳以上の年齢階級で長く、75 歳以上では 1 時間と最も長くなっている。一方、女性は 25 ～ 34 歳から 55 ～ 64 歳までの年齢階級で４時間以上、特に 35 ～ 44 歳では５時間を超えている。【表３－４】

② 依然男女の差が大きい家事関連時間

15 歳以上の人について、家事関連時間の男女別を平成 13 年と比較してみると、男性は 8 分増加し、逆に女性は 17 分減少している。また、男女差を比較してみると、平成 13 年は 3 時間 20 分、18 年は 2 時間 55 分と依然として大きいものの、その差は縮小している。【表３－４】

表3－4 年齢階級別家事関連時間の推移－週全体 (時間:分)

	総 数			男			女			男-女	
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年
15歳以上	2:13	2:10	(- 0:03)	0:32	0:40	(0:08)	3:52	3:35	(- 0:17)	- 3:20	- 2:55
15～24歳	0:43	0:29	(- 0:14)	0:15	0:16	(0:01)	1:13	0:46	(- 0:27)	- 0:58	- 0:30
25～34歳	2:26	2:38	(0:12)	0:38	0:32	(- 0:06)	4:18	4:51	(0:33)	- 3:40	- 4:19
35～44歳	2:46	2:49	(0:03)	0:29	0:44	(0:15)	5:11	5:01	(- 0:10)	- 4:42	- 4:17
45～54歳	2:23	2:21	(- 0:02)	0:21	0:33	(0:12)	4:29	4:11	(- 0:18)	- 4:08	- 3:38
55～64歳	2:29	2:32	(0:03)	0:37	0:52	(0:15)	4:12	4:12	(0:00)	- 3:35	- 3:20
65～74歳	2:43	2:28	(- 0:15)	0:45	0:53	(0:08)	4:27	3:53	(- 0:34)	- 3:42	- 3:00
75歳以上	1:51	2:00	(0:09)	0:49	1:00	(0:11)	2:28	2:37	(0:09)	- 1:39	- 1:37

( )内は平成13年との増減

③ 有業者は 9 分増加、無業者は 11 分の減少

ふだんの就業状態別に家事関連時間をみると、有業者は 1 時間 44 分、無業者は 3 時間 22 分と、有業者に比べ無業者が 1 時間 38 分長くなっている。

平成 13 年と比較すると、有業者が 9 分増加、無業者が 11 分減少となっている。

【表３－５】

④ 男性の家事関連時間がすべての曜日で増加

家事関連時間を曜日別にみると、男性は平日が 29 分、土曜日が 53 分、日曜日が 1 時間分 13 分と平日で短く、土曜日と日曜日で長くなっている。一方、女性は、平日が 3 時間 34 分、土曜日が 3 時間 31 分、日曜日が 3 時間 40 分と、曜日による差はあまりみられない。

これを平成 13 年と比較すると、男性はすべての曜日で増加している。一方、女性は、日曜日でわずかに増加しているが、平日と土曜日では大幅に減少している。【表３－６】

表3－5　ふだんの就業状態別家事関連時間の推移－週全体　(時間:分)

		平成13年		平成18年			
		有業者	無業者	有業者		無業者	
総数	家事関連時間	1:35	3:33	1:44	(0:09)	3:22	(- 0:11)
	家事	1:03	2:20	1:09	(0:06)	2:19	(- 0:01)
	介護･看護	0:02	0:08	0:02	(0:00)	0:08	(0:00)
	育児	0:10	0:33	0:13	(0:03)	0:28	(- 0:05)
	買い物	0:20	0:32	0:20	(0:00)	0:27	(- 0:05)
男	家事関連時間	0:27	0:49	0:33	(0:06)	1:08	(0:19)
	家事	0:08	0:30	0:12	(0:04)	0:38	(0:08)
	介護･看護	0:01	0:01	0:02	(0:01)	0:12	(0:11)
	育児	0:06	0:01	0:06	(0:00)	0:01	(0:00)
	買い物	0:12	0:17	0:13	(0:01)	0:17	(0:00)
女	家事関連時間	3:10	4:44	3:19	(0:09)	4:23	(- 0:21)
	家事	2:20	3:08	2:26	(0:06)	3:05	(- 0:03)
	介護･看護	0:03	0:11	0:02	(- 0:01)	0:07	(- 0:04)
	育児	0:15	0:46	0:22	(0:07)	0:40	(- 0:06)
	買い物	0:32	0:39	0:29	(- 0:03)	0:31	(- 0:08)

( )内は平成13年との増減

表3－6　曜日別家事関連時間の推移　(時間:分)

	総　数			男			女		
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年	
週全体	2:13	2:10	(- 0:03)	0:32	0:40	(0:08)	3:52	3:35	(- 0:17)
平　日	2:11	2:04	(- 0:07)	0:23	0:29	(0:06)	3:55	3:34	(- 0:21)
土曜日	2:23	2:14	(- 0:09)	0:47	0:53	(0:06)	3:56	3:31	(- 0:25)
日曜日	2:20	2:29	(0:09)	0:59	1:13	(0:14)	3:39	3:40	(0:01)

( )内は平成13年との増減

４．３次活動時間

（１）休養等自由時間活動の時間

① 15 ～ 24 歳で最も短い休養等自由時間活動の時間

15 歳以上の人の休養等自由時間活動の時間（「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の合計時間）は、3 時間 40 分で、このうち「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」に費やす時間が 2 時間 15 分となっている。【表４－１】

年齢階級別にみると、15 ～ 24 歳が最も短く、年齢が高くなるほど長くなっている傾向にある。【表４－２】

② 休養等自由時間活動の時間は減少傾向

15 歳以上の人について休養等自由時間活動の時間を平成 13 年と比較すると、10 分の減少となっており、このうち「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間は男女とも大幅に減少しており、男性は 20 分、女性は 15 分の減少となっている。【表４－１】

年齢階級別にみると、25 ～ 34 歳、55 ～ 64 歳を除く各年齢階級で大幅な減少となっている。【表４－２】

（２）積極的自由時間活動の時間

① 15 ～ 24 歳で最も長い積極的自由時間活動の時間

15 歳以上の人の積極的自由時間活動の時間（「学習・研究（学業以外）」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間）は 1 時間 10 分で、このうち「趣味・娯楽」に費やす時間が 40 分と最も長く、次いで、「スポーツ」、「学習・研究」の順となっている。男女別にみると、男性は 1 時間 18 分、女性は 1 時間 2 分と男性が長くなっている。【表４－１】

年齢階級別にみると、35 ～ 44 歳が 46 分と短く、15 ～ 24 歳が 1 時間 57 分と長くなっている。【表４－３】

② 積極的自由時間活動の時間は 15 ～ 24 歳、65 ～ 74 歳で大きく増加

15 歳以上の人について積極的自由時間活動の時間を平成 13 年と比較すると、4 分の増加となっており、このうち「スポーツ」の時間は男女とも増加しており、男性は 6 分、女性は 2 分の増加となっている。【表４－１】

年齢階級別にみると、15 ～ 24 歳で 15 分、65 ～ 74 歳で 16 分と大きく増加している。【表４－３】

表4－1　3次活動時間（15歳以上）－週全体　（時間：分）

	総　数		男		女	
3次活動	6:05	(- 0:11)	6:13	(- 0:11)	5:58	(- 0:10)
休養等自由時間活動	3:40	(- 0:10)	3:44	(- 0:12)	3:35	(- 0:09)
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2:15	(- 0:17)	2:20	(- 0:20)	2:09	(- 0:15)
休養・くつろぎ	1:25	(0:07)	1:24	(0:08)	1:26	(0:06)
積極的自由時間活動	1:10	(0:04)	1:18	(0:03)	1:02	(0:06)
学習・研究（学業以外）	0:09	(- 0:01)	0:09	(- 0:03)	0:09	(0:00)
趣味・娯楽	0:40	(0:00)	0:44	(- 0:02)	0:37	(0:03)
スポーツ	0:16	(0:04)	0:20	(0:06)	0:11	(0:02)
ボランティア活動・社会参加活動	0:05	(0:01)	0:05	(0:02)	0:05	(0:01)
交際・付き合い	0:20	(- 0:06)	0:19	(- 0:05)	0:21	(- 0:08)

（ ）内は平成13年との増減

表4－2　年齢階級別休養等自由時間活動の時間の推移－週全体　（時間：分）

	総　数			男			女		
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年	
15歳以上	3:50	3:40	(- 0:10)	3:56	3:44	(- 0:12)	3:44	3:35	(- 0:09)
15～24歳	3:21	2:57	(- 0:24)	3:32	2:59	(- 0:33)	3:10	2:54	(- 0:16)
25～34歳	3:00	3:05	(0:05)	2:59	3:11	(0:12)	3:02	2:58	(- 0:04)
35～44歳	3:14	3:02	(- 0:12)	3:30	3:17	(- 0:13)	2:57	2:46	(- 0:11)
45～54歳	3:33	3:12	(- 0:21)	3:41	3:17	(- 0:24)	3:25	3:07	(- 0:18)
55～64歳	3:43	3:44	(0:01)	3:54	3:53	(- 0:01)	3:32	3:35	(0:03)
65～74歳	4:53	4:27	(- 0:26)	5:16	4:57	(- 0:19)	4:32	4:00	(- 0:32)
75歳以上	6:29	6:04	(- 0:25)	6:40	5:53	(- 0:47)	6:22	6:10	(- 0:12)

（ ）内は平成13年との増減

表4－3　年齢階級別積極的自由時間活動の時間の推移－週全体　（時間：分）

	総　数			男			女		
	平成13年	平成18年		平成13年	平成18年		平成13年	平成18年	
15歳以上	1:06	1:10	(0:04)	1:15	1:18	(0:03)	0:56	1:02	(0:06)
15～24歳	1:42	1:57	(0:15)	1:54	1:49	(- 0:05)	1:30	2:04	(0:34)
25～34歳	1:00	0:53	(- 0:07)	1:07	1:13	(0:06)	0:52	0:34	(- 0:18)
35～44歳	0:52	0:46	(- 0:06)	0:59	0:50	(- 0:09)	0:45	0:45	(0:00)
45～54歳	0:48	0:52	(0:04)	0:54	0:58	(0:04)	0:43	0:47	(0:04)
55～64歳	1:18	0:58	(- 0:20)	1:32	1:01	(- 0:31)	1:03	0:55	(- 0:08)
65～74歳	1:12	1:28	(0:16)	1:17	1:36	(0:19)	1:08	1:21	(0:13)
75歳以上	0:53	0:49	(- 0:04)	1:18	1:13	(- 0:05)	0:38	0:34	(- 0:04)

（ ）内は平成13年との増減

主 要 統 計 表

－　統計表を見る上での注意　－

1　統計表の数字は、表章単位未満の位で四捨五入してあること、総数に分類不能・不詳の数を含むことから、総数と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。

2　統計表中「0」、「0.0」、「0.00」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。

3　統計表中「－」は、該当の行動者が皆無の場合及び同値の人口や標本数が連続するため省略している箇所である。

4　統計表中「…」は、当該属性の標本数が皆無の場合及び標本数が１０未満で、結果精度の観点から表章していない箇所である。

付録　平成１８年社会生活基本調査の概要

１　調査のねらい

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動（「インターネット」「ボランティア活動」「旅行・行楽」「学習・研究」「スポーツ」「趣味・娯楽」）について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種の行政施策の基礎資料を得ることを目的とするものである。

この調査は、昭和５１年の第１回調査以来５年ごとに実施され、今回の調査は７回目に当たる。

２　調査の法的根拠

この調査は、統計法（昭和２２年法律第１８号）に基づく指定統計調査（第１１４号）で、「社会生活基本調査規則」（昭和５６年総理府令第３８号）に基づいて実施した。

３　調査の範囲

ア　調査の地域

国勢調査調査区のうち総務省の指定する約６，３４４調査区において調査を行った。このうち群馬県の調査地域は３０市町村、１２０調査区である。

イ　調査の対象

指定調査区の中から選定した約８万世帯に居住する１０歳以上の世帯員約１８万人を対象とした。このうち群馬県の調査対象は１，４００世帯の約３，５００人である。

４　調査の期日

平成１８年１０月２０日現在

５　調査事項

ア　すべての世帯員に関する事項

① 出生の年月又は年齢

② 世帯主との続柄

③ 在学、卒業等教育又は保育の状況

イ　１０歳以上の世帯員に関する事項

① 氏名

② 男女の別

③ 配偶の関係

④ 介護の状況

⑤ 携帯電話、パーソナルコンピュータその他の情報通信に関連する機器の使用の状況

⑥ インターネットの利用の状況

⑦ スポーツ活動の状況

⑧ 学習・研究活動の状況

⑨ 趣味・娯楽活動の状況

⑩ ボランティア活動の状況

⑪ 旅行・行楽の状況

⑫ 生活時間の配分及び天候

ウ　１５歳以上の世帯員に関する事項

① 就業状態

② 就業希望の状況

③ 仕事の種類

④ 従業上の地位

⑤ 所属の企業全体の従業者数

⑥ ふだんの１週間の就業時間

⑦ 通勤時間

⑧ 週休制度

⑨ 連続した休暇の取得の状況

エ　６０歳以上の世帯員に関する事項

①子の住居の所在地

オ　世帯に関する事項

① 世帯の種類

② 世帯の年間収入

③ 住居の種類

④ 居住室の室数

⑤ 自家用車の所有の状況

⑥ 介護支援の利用の状況

⑦ 不在者の有無

問い合わせ先

群馬県総務部統計課人口社会グループ
〒３７１－８５７０　前橋市大手町一丁目１番１号
ＴＥＬ　０２７－２２６－２４０６（ダイヤルイン）
ＦＡＸ　０２７－２２４－９２２４

「平成１８年社会生活基本調査　群馬県結果の概要－生活時間に関する結果－」はインターネット（「群馬県統計情報提供システム」）でも提供しています。

ホームページアドレス

パソコンからは　【http://toukei.pref.gunma.jp/】

画面左上の「統計速報」をご覧ください。